

Sun Blade™ X6270 サーバー モジュールご使用の手引き

本書では、初めてサーバーの電源を入れてブートするために最小限必要な手順を説明します。

詳細な設置手順については、『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』を参照してください。
このマニュアルは、次に示す Sun ドキュメント Web サイトにあります。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.x6270>

このシステムに関するドキュメントの一覧については、本書末尾の「[本製品のドキュメント](#)」の節を参照してください。

目次

Sun Blade™ X6270 サーバーモジュールには、使用する構成のために注文したコンポーネントと、安全ドキュメントが付属しています。ドキュメントおよびメディアキットの中に、設置マニュアル、Tools and Drivers CD/DVD、Sun Installation Assistant CD/DVD、および SunVTS CD/DVD があります。オプションのコンポーネントを注文した場合、コンポーネントは別の梱包で発送される場合があります。

安全性とコンプライアンスに関する情報

設置を実行する前に、次のドキュメントで安全情報を確認してください。

- 『Important Information for Sun Hardware Systems』 – 出荷品一式に入っている印刷マニュアル。
- 『Sun Blade X6270 Server Module Safety and Compliance Guide』 – Sun ドキュメント Web サイトからオンラインで入手可能。

オプションのコンポーネントを設置する

サーバーをシャーシに設置する前に、サーバーといっしょに注文した、ハードディスクドライブ、DIMM、REM、FEM などのオプションのコンポーネントを設置する必要があります。オプションのコンポーネントの設置方法については、『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』を参照してください。

サーバーモジュールを設置してスタンバイ電源状態を確認する

サーバーモジュールをシャーシに設置する前に、システムシャーシの電源が入っている必要があります。電源が入っているシャーシにサーバーモジュールを挿入すると、デフォルトではシャーシからサーバーモジュールにスタンバイ電源が供給されます。システムシャーシの電源投入の詳細については、システムシャーシのドキュメントを参照してください。サーバーモジュールの電源投入の詳細については、『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』を参照してください。この節には、参考のため、サーバーモジュールに主電源を供給する手順と、サーバーモジュールの電源を切断する手順も記載されています。

▼電源が入っているシャーシにサーバーモジュールを挿入する

1. システムシャーシの電源が入っていることを確認します。
シャーシの電源が入っている場合、ファンが動作し、OK/電源 LED が緑色に常時点灯します。OK/電源 LED は、シャーシのフロントパネルと背面パネルの両方にあります。シャーシの電源が入っていない場合、システムシャーシのドキュメントを参照してください。
2. シャーシの前面で、サーバーモジュールを挿入するスロットの位置を確認し、フィラーパネルをスロットから取り外します。レバーを引き出し、フィラーパネルを取り出します。
3. 取り外しレバーが右側になり、外側に突き出すように、サーバーモジュールを垂直に配置します。
4. サーバーモジュールをスロットに止まるまで押し込み、シャーシ前面と同じ高さになるようにします。
5. サーバーモジュールをシャーシにロックするには、次の手順を実行します。
 - 上の取り外しレバーを下方向に、はまり込むまで回します。
 - 下の取り外しレバーを上方向に、はまり込むまで回します。取り外しレバーがロックされ、サーバーモジュールのサービスプロセッサ (Service Processor、SP) にスタンバイ電源が供給されます。

注 – サーバー SP のブートには数分かかる場合があります。サーバー SP のブート中には、OK/電源 LED がゆっくりと点滅します (0.5 秒オン、0.5 秒オフ)。サーバー SP がブートすると、OK/電源 LED はスタンバイ点滅 (0.1 秒オン、2.9 秒オフ) になります。スタンバイ点滅状態は、サーバー SP の電源を入れる準備ができていることを示します。

▼サーバーモジュールのスタンバイ電源状態を確認する

1. システムシャーシの電源が入っていることを確認します。
OK/電源 LED が緑色に常時点灯していれば、シャーシの電源が入っています。シャーシの電源が入っていない場合、システムシャーシのドキュメントに従って、システムシャーシの電源を入れます。
2. サーバーモジュールの OK/電源 LED がスタンバイ点滅状態であることを確認します。
サーバーモジュールのフロントパネルにある OK/電源 LED がスタンバイ点滅状態 (0.1 秒オン、2.9 秒オフ) であれば、サーバーモジュールにスタンバイ電源が供給されています。スタンバイ点滅状態は、サーバーモジュール SP が動作中で、サーバーモジュールホストの電源が切断されていることを示します。

注 – OK/電源 LED は、サーバーモジュールの電源を入れるのに十分なシャーシ電源が存在する場合だけ、スタンバイ点滅状態になります。シャーシ電源が不足している場合、OK/電源 LED は十分なシャーシ電源が得られるまでオフのままになります。問題を解決するには、ILOM のログメッセージを見て、サーバーモジュールに電源投入の権限があるかどうかを確認し、システムシャーシのドキュメントで、シャーシ内のコンポーネントの電源投入に関する情報を参照してください。

3. 「ILOM に接続して IP アドレスを設定」と「プラットフォームオペレーティングシステム、ドライバソフトウェア、およびファームウェアを設定する」の節に記述されている手順で、ソフトウェアの初期設定作業を進めます。
スタンバイ電源がサーバーモジュール SP に供給されている場合、ILOM に接続して IP アドレスを設定できます。オペレーティングシステムをインストールするには、サーバーモジュールホストに主電源を供給する必要があります。

▼ サーバーモジュールへに主電源を供給する

1. サーバーモジュールのフロントパネルにある OK/電源 LED がスタンバイ点滅状態であることを確認します。
スタンバイ点滅状態では、サーバーモジュールのフロントパネルにある OK/電源 LED が点滅します (0.1 秒オン、2.9 秒オフ)。
2. 金属製でない先の尖ったものを使用して、サーバーモジュールのフロントパネルにある埋め込み式の電源ボタンを押してから離します。
サーバーモジュールのフロントパネルにある OK/電源 LED が緑色に常時点灯します。常時点灯状態の LED は、サーバーモジュール SP とホストの両方の電源が入っていることを示します。

▼ サーバーモジュールの電源を切断する

主電源モードからサーバーモジュールの電源を切るには、次の 2 つの方法のいずれかを使用します。

- 正常な停止 – 金属製でない先のとがったものを使用して、サーバーモジュールのフロントパネルにある電源ボタンを押して離します。ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) が有効な OS では、この操作により適切な順序での OS シャットダウンが実行されます。
- 緊急シャットダウン – 電源ボタンを 4 秒間押し続けると、主電源が切れてスタンバイ電源モードになります。主電源がオフの場合、フロントパネルの青色 (取り外し可能) LED が点灯し、サーバーモジュールが取り外し可能であることを示します。

ILOM に接続して IP アドレスを設定

サーバーモジュール SP を Integrated Lights Out Manager (ILOM) に接続して IP アドレスを設定するには、いくつかの方法があります。次の手順では、サーバーモジュールのフロントパネルにあるシリアル接続を使用して、ILOM に接続して IP アドレスを設定する方法を示します。

ILOM を使用してサーバーモジュールの設定と管理を行う手順については、『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』および『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』を参照してください。

▼ シリアル接続を使用して ILOM に接続する

1. サーバーモジュールのフロントパネルにある OK/電源 LED がオフ以外の状態であることを確認します。
詳細は、「サーバーモジュールのスタンバイ電源状態を確認する」または「サーバーモジュールへに主電源を供給する」を参照してください。
2. ドングルコネクタの RJ-45 ジャックを、シリアル端末と、サーバーモジュールのフロントパネルにあるドングルコネクタに接続します。シリアル端末が動作していることを確認します。
3. 接続したシリアルコンソールに表示される端末ウィンドウで、次の項目を設定します。
 - 8N1: 8 データビット、パリティなし、1 ストップビット
 - 9600 ボー (デフォルト値、57600 までの任意の標準速度を設定可能)
 - ハードウェアフロー制御 (CTS/RTS) の無効化
4. Enter キーを押して、シリアルコンソールとサーバーモジュール SP の間の接続を確立します。
しばらくすると ILOM のログインプロンプトが表示されます。
例: <ホスト名> Login:
5. デフォルトのユーザー名 (root) とデフォルトのパスワード (changeme) を使用して、ILOM CLI にログインします。
デフォルトのコマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) プロンプト (->) が表示され、ネットワーク設定を確立する CLI コマンドが実行できる状態になります。

▼ CLI を使用して ILOM IP アドレスを設定

1. 「シリアル接続を使用して ILOM に接続する」 に示す手順で、ILOM に接続してログインします。
2. プロンプト (->) に次のコマンドを入力して、作業用ディレクトリを設定します。
-> `cd /SP/network`
3. 次の例のアドレスを実際のネットワークアドレスに置き換えて、次のコマンドを入力します。
 - 静的な Ethernet 構成を設定するには、次のように入力します。
-> `cd /SP/network`
-> `set pendingipaddress=129.144.82.26`
-> `set pendingipnetmask=255.255.255.0`
-> `set pendingipgateway=129.144.82.254`
-> `set pendingipdiscovery=static`
-> `set commitpending=true`
 - 動的な Ethernet 構成を設定するには、次のように入力します。
-> `cd /SP/network`
-> `set pendingipdiscovery=dhcp`
-> `set commitpending=true`
4. ILOM からログアウトするには、`exit` と入力します。

システムを登録する

1. システムのシリアル番号を、システムに付属する EZ ラベルまたは Customer Information Sheet で確認します。
2. 次の Web サイトでシステムを登録します。
<http://www.sun.com/service/warranty/index.xml#reg>

プラットフォームオペレーティングシステム、ドライバソフトウェア、およびファームウェアを設定する

ILOM SP に接続して IP アドレスを設定したら、プリインストールされているオペレーティングシステム (Operating System, OS) を設定するか、サポートされる Solaris、Linux、VMware、または Windows オペレーティングシステムおよびドライバをインストールできます。詳細については、次の表を参照してください。

注 – Sun では、**Sun Installation Assistant (SIA)** を使用して、ファームウェアのアップグレードを自動化し (システムでサポートされている場合)、サポートされている Linux または Windows オペレーティングサーバーをインストールすることを、強くお勧めします。SIA でサポートされるオペレーティングシステムとファームウェアアップグレードの詳細については、<http://www.sun.com/systemmanagement/sia.jsp> を参照してください。SIA は、ドキュメントおよびメディアキットに収録されており、<http://www.sun.com/systemmanagement/sia.jsp> からオンラインでも入手できます。また、<http://docs.sun.com/app/docs/prod/install.x64svr#hic?l=ja> にある『Linux および Windows 用 Sun Installation Assistant ユーザーズガイド』(820-6352) を参照してください。

オペレーティングシステム	次のドキュメントを参照してください。	インストール情報については、次の Web サイトを参照してください。	ドライバとファームウェアについては、次の Web サイトを参照してください。	パッチ情報については、次の Web サイトを参照してください。
プリインストールされている Solaris OS	『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』	http://www.sun.com/software/preinstall/		<ul style="list-style-type: none"> 『Sun Blade X6270 サーバーモジュールご使用にあたって』を参照してください
Solaris OS	『Sun Blade X6270 サーバーモジュール Linux、VMware、および Solaris オペレーティングシステムインストールガイド』	http://www.sun.com/software/solaris/	http://www.sun.com/servers/x64/x6270/downloads.jsp	<ul style="list-style-type: none"> http://sunsolve.sun.com
OpenSolaris				
VMware (ESX)		http://www.vmware.com/		http://www.vmware.com/download/
Linux	<ul style="list-style-type: none"> 『Sun Blade X6270 サーバーモジュール Linux、VMware、および Solaris オペレーティングシステムインストールガイド』 Linux および Windows の場合: 『Linux および Windows 用 Sun Installation Assistant ユーザーズガイド』 	<ul style="list-style-type: none"> http://www.redhat.com http://www.novell.com/ http://www.sun.com/servers/x64/x6270/os.jsp http://www.sun.com/systemmanagement/sia.jsp 	<ul style="list-style-type: none"> http://www.sun.com/servers/x64/x6270/downloads.jsp SIA を使用してドライバとファームウェアの更新を自動化します 	<ul style="list-style-type: none"> Redhat: https://www.redhat.com/apps/download/ SUSE: http://download.novell.com/index.jsp http://sunsolve.sun.com
Windows	『Sun Blade X6270 サーバーモジュール Windows オペレーティングシステムインストールガイド』	http://www.sun.com/servers/x64/x6270/os.jsp	http://www.sun.com/servers/x64/x6270/downloads.jsp	http://update.microsoft.com/

ファームウェアとドライバのアップグレード

サーバー上のサポートされるファームウェアおよびドライバのアップグレード手順については、『Linux および Windows 用 Sun Installation Assistant ユーザーズガイド』、または『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』のファームウェア更新手順を参照してください。Sun では、**Sun Installation Assistant (SIA)** を使用してファームウェアを更新することを強くお勧めします。

本製品のドキュメント

次の表に記載されたドキュメントはおおむね、新しいサーバーを設置する際に実行する作業の順番に並んでいます。左側の作業を見て、右側の対応するドキュメントを参照してください。すべてのドキュメントの最新版は、次の Sun ドキュメント Web サイトにあります。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.x6270>

ドキュメントの翻訳版については、<http://docs.sun.com> Web サイトで言語を選択し、その言語のドキュメントセットを参照してください。

作業	ドキュメントタイプ	Part No.
安全情報の確認	安全の手引き	(820-6551)
	『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』	(816-7190)
既知の問題と対処方法の確認	プロダクトノート	(820-7777)
設置、電源投入、およびプリインストールされている OS の設定	設置マニュアル	(820-7765)
ILOM によるサーバーコンポーネントの管理	Integrated Lights Out Manager 2.0 補足マニュアル	(820-7774)
	『Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』	(820-2698)
RAID アレイの設定と管理	『x64 Servers Utilities Reference Manual』	(820-1120)
オペレーティングシステムのインストール	Linux、VMware、および Solaris オペレーティングシステムインストールガイド	(820-7768)
	Windows オペレーティングシステムインストールガイド	(820-7771)
システムの電源投入、BIOS 設定の構成、ハードウェアコンポーネントの保守、および診断ツールの実行	サービスマニュアル	(820-6178)

Sun 連絡先情報

項目	URL
技術サポート	http://www.sun.com/service/contacting
本書に関するコメントの送信	http://www.sun.com/hwdocs/feedback ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。 『Sun Blade X6270 サーバーモジュールご使用の手引き』、Part No. 820-7762-10
ドライバとファームウェアの更新	http://www.sun.com/servers/x64/x6270/downloads.jsp

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.



Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-7762-10, Revision A
2009 年 3 月